

中野区男子HPVワクチン任意予防接種予診票

対象者	接種日現在、以下の条件のどちらにもあてはまる方 ①中野区に住民登録があること ②小学6年生から高校1年生相当の男子 ※女子については、予防接種法に基づく定期予防接種にて無料で接種が可能です。
対象ワクチン	4価HPVワクチン（商品名：ガーダシル） ※9価HPVワクチンは、令和5年8月現在、薬事承認されていません。
接種にあたって	接種は無料です。下部と裏面の説明欄をよくお読みいただき、医師と相談の上、接種してください。

HPVワクチンの特徴

1. ヒトパピローマウイルス(HPV)は、がんや性感染症(子宮頸がん、肛門がん、尖圭コンジローマ等)を引き起こすウイルスです。4価 HPV ワクチンは、これらの発症に関係するHPV6、11、16、18型の4つのHPV型の感染を予防するワクチンです。
2. HPVには多くの型があり、4価 HPV ワクチンを接種しても、上の型以外のHPV感染を予防する効果はありません。また、すでにこれらのHPV型に感染している人に対して、4価HPVワクチンを接種しても、ウイルスを排除したり、発症している上のがんやその前がん病変などの進行を遅らせたり、治療することはできません。
3. 4価HPVワクチンの接種時にワクチンに含まれるいずれかのHPV型に感染している場合、そのHPV型に対する予防効果は期待できませんが、4つのうち、残りの種類のHPV型に感染している可能性は低いため、1つの型のHPVに感染している場合でも他の型のHPVに対する予防効果は期待できます。
4. HPVに感染する機会が少ない10代前半に4価HPVワクチンを接種することで、ワクチンに含まれる HPV 型による各種がんとその前がん病変、尖圭コンジローマ等の発症をより効果的に予防することができます。また、性交渉等により、HPVを他者に感染させる可能性が低くなります。
5. 予防効果の持続期間は確立していません(※4価 HPV ワクチンで14年間までの追跡試験結果が報告されており、その期間までは予防効果が続くといわれています)。

HPVワクチンの副反応

1. 4価 HPV ワクチンと関連性があると考えられる主な副反応は以下のとおりです。
頻度 10%以上 注射部位の痛み・赤み・腫れ
頻度 1~10%未満 頭痛、注射部位のかゆみ、発熱
頻度 0.1~1%未満 体がふらつくめまい、感覚が鈍くなる、傾眠（刺激がないと眠ってしまう）、体が回転しているように感じる、下痢、腹痛、悪心、手足の痛み、筋肉が硬くなる、手足の不快感、注射部位のしこり・出血・不快感・内出血・変色・知覚低下・熱感、だるさ、白血球数増加
頻度不明 皮ふ局所の痛みと熱を伴った赤い腫れ、リンパ節の腫れ、痛み、失神、おう吐、関節の痛み、筋肉痛、注射部位の血腫、無力症（まぶたが下がる、物がだぶって見える等）、寒気、疲れ
2. まれに以下のような重篤な副反応が起こることがあります。その際は医師に申し出てください。
アナフィラキシー反応（呼吸困難、目や唇のまわりの腫れ、じんましん等）、気管支痙攣（発作的な息切れ等）、ギラン・バレー症候群（手や足に力が入りにくい、しびれ）、血小板減少性紫斑病（鼻血、歯ぐきの出血等）、急性散在性脳脊髄炎（まひ、知覚障害、運動障害等）。
3. 4価 HPV ワクチンを適正に接種したにもかかわらず、健康被害が発生した場合には、その内容、程度に応じて薬事・食品衛生審議会での審議を経て「医薬品副作用被害救済制度」により治療費等の給付が受けられる場合があります。詳しくは、独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページをご覧ください。

い。

接種を受けることができない方

1. 明らかに発熱している方
2. 重い急性疾患にかかっている方
3. ガーダシルの成分(詳しくは医師にお尋ねください)によって、過敏症(通常30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応を含む)をおこしたことがある方
4. その他、かかりつけの医師に予防接種を受けない方がよいと言われた方。

次の方は接種前に医師にご相談ください。

1. 血小板減少症や凝固障害を有する方
2. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方
3. 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発しんなどのアレルギーを疑う症状のみられた方
4. 過去にけいれん(ひきつけ)をおこしたことがある方
5. 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方もしくは先天性免疫不全症と診断された近親者がいる方
6. ワクチンの成分によって、アレルギーの症状がみられる可能性のある方
7. 他のHPVワクチンを接種したことがある方

回数・接種部位

接種回数 3回 初回接種、初回から2か月後(2回目)、初回から6か月後(3回目)

接種部位 腕の筋肉内

接種後の注意点

1. 接種部位を強く揉まず、軽く押さえる程度にとどめてください。
2. 注射による恐怖、痛みなどが原因で、気を失うことがあります。気を失って転倒してしまうことをさけるため、接種後すぐに帰宅せず、30分程度は接種した医療機関で座って安静にし、医師とすぐに連絡がとれるようにしておいてください。
3. 接種部位が腫れたり痛むことがあります。これは体内に備わっている抵抗力が注射した成分を異物として認識するためにおこります。通常は数日間程度で治まります。
4. 接種部位を清潔に保ってください。
5. 接種当日は、過激な運動を控えてください。
6. 接種した日の入浴は問題ありません。
7. 接種後1週間は、体調に注意し気になる症状があるときは医師にご相談ください。

中野区HP ↓



問い合わせ先

〒164-0001 中野区中野2-17-4

中野区保健所 保健予防係(予防接種担当)

TEL. 03-3382-6500